

<福島県知事賞>

## 私に出来ること

白河市立東北中学校 3年 渡邊 有陽

私には夢がある。叶えたい夢が。この夢を持つことが出来たのは、たくさんの方々が私たち子供のために税金を納めてくれているからだ。たくさんの方々の支えがなければ、私達は学校に通うことが出来なかったかもしれない。読み、書きすら出来なかったかもしれない。そして、私は夢を持つことすらも出来なかったかもしれない。

私は英語を勉強する事が大好きだ。だから毎日の学校での楽しみは英語の授業を受けることだ。授業で英会話をする事が好きだ。だから英語の授業中にALTの先生と会話が続いた時はうれしい。日に日に英語力が身に付いてきていることを、身を持って実感出来るからだ。

中学校に入学するまで、自分の夢について考えたことが無かった。そのうち、夢も見つかるだろうと思っていた。

しかし、中学校に入学すると気持ちに変化が生じた。小学校より、英語の授業が本格化してきた。また、英語のおもしろさや深さをだんだんと理解するようになった。ここで私の夢が生まれた。

それは、たくさんの方とコミュニケーションを取りたい。つまり、将来英語を使った職業につきたいと思うようになった。

その夢を叶えるために、毎日熱心に英語の勉強に励んでいる。授業中も語学力向上のために、習った文法を積極的に使って英会話をしている。

ここまで私が本気になれたのは、学校に通うことが出来ているからだ。そして大好きな英語の授業を受けることが出来ているからだ。もし、税金が無ければ、当たり前のように学校に通うことが出来なかったかもしれない。英語の授業も受けられず、今も夢が見つからないままだったかもしれない。

このように考えると、税金のありがたみを感じる。たくさんの方々が一生けん命働

いて、得たお金の一部を私達のために納めてくれている。この恩を、私はどうやって返せば良いのか。私に出来ることは何かを考えた。

それは、税金を無だにせず、毎日熱心に勉強に励むことだ。そして、将来国のために動ける大人になるということだ。私は将来に、他国の方とコミュニケーションを取る。その中で、日本の良さを伝えていこうと思う。

そして、私も大人になる。私も税金を納める時が来る。その時に、

「めんどくさいなあ。」

と思うのではなく、

「私は税金によって学校に通うことが出来たから、大好きな英語に出会えたんだ。私が納める税金で、一人でも多くの子どもに夢をもってもらいたい。」

と考えられる大人になれば、最高だ。